

## 「3M事業26」第一期百十八頭導入 「ヘルパー傷病利用限度期間」九十日に短縮



**協議一 3M事業26にかかる利用上限  
頭数超過組合員の利用可否と理事による  
利益相反取引契約の承認・第二期分着手**

(一)「3M事業26」にかかる利用上限  
数超過組合員の利用可否判断

▼八月八日、3M事業26の事前利用  
希望調査結果で利用意志を示された  
組合員二十九戸に対して、第一期分  
「3M事業26」の案内を行ったところ、  
二十五戸から百十八頭の参加利用申請  
書の提出を受けた。

▼この利用申請には、生乳需要期対応  
酪農経営向上対策事業実施要領(以下  
「実施要領」という)第八条第一項の「上  
限頭数の制限」の定めに基づき、組合  
員三名が含まれており、実施要領第九  
条第五項の定めに基づく利用可否判断  
を審議した。三名の組合員からは「繰  
上償還」又は「初産分娩子牛の販売対  
価を経営対策負担金の繰上償還に充  
当」の意思表示があり、理事会ではこ

れを妥当と判断し、この申請を認める  
ことを決定した。

(二)3M事業26に係る理事と組合間の  
利益相反取引の承認

▼「3M事業26」の参加申請組合員に  
理事者三名が含まれており、実施要領  
第九条の事業参加資格とその要件を満  
たし、妥当と判断した。この手続きに  
おける契約行為は理事会運営規則第七  
条一項の別表(役員に関する事項)に掲  
げる「理事と組合間の利益相反取引」、  
かつ、貸付金貸出規程第十条(理事に  
対する貸付)の規定に該当し、この事  
業実施と契約締結について理事会での  
承認を行った。

(三)第二期分「3M事業26」への着手

▼平成二十六年第二期分(頭数  
八十二頭)の実施は、組合員に対して、  
平成二十六年十月に事前希望調査を行  
い、平成二十六年十一月に実行するこ  
とを決定した。

**協議一 酪農ヘルパー傷病時  
利用互助要領の一部変更**

▼酪農ヘルパー事業の傷病時利用にお  
いて、「酪農ヘルパー事業円滑化推進  
委員会」及び「酪農ヘルパー調整会議」  
での意見を踏まえ、傷病利用に伴う派  
遣日数は原則として百八十日を限度と  
するものの、利用開始日から四日目以  
降(傷病開始日)から九十日迄の期間は  
補助金対象とし、残る百八十日に達す  
る迄の期間の利用料金は定期利用料金  
とすることを決定し、この変更に伴い  
「酪農ヘルパー傷病時利用互助要領」の  
一部を変更した。

▼なお、この変更は利用者への周知徹  
底の期間を考慮して、平成二十六年  
十一月一日からの施行とし、対象とな  
る傷病利用は施行日以後の傷病利用の  
取得開始分と決定した。

○関連記事は本誌二十三頁ミルクパ  
ラーをご覧ください。

**協議二 組合発足二十周年  
記念行事の開催内容**

▼八月一日開催の第六回理事会におい

理事十一名、監事三名(一名欠  
席)の出席のもと、十一の協議事項  
を審議決定した。

て、組合発足二十周年記念行事並びに記念誌を発刊することを決定した。この記念行事の開催並びに記念誌の発刊内容等、会場及び講師都合等も考慮して、日程調整を進めることを決定した。

▼記念式典開催候補日…

平成二十六年十一月二十八日(金)

▼講演会の講師候補…

料理家・管理栄養士 小山浩子さん(ミルク料理研究家)

▼記念誌編集…鈴木専務、西中参事、吉岡総務管理課長、中山事業推進課長、河内山市乳販売促進課係長、岡田主事が主として編集作業にあたる。

#### 協議四 飼料製造業務の

業者委託

▼広酪はTMR飼料製造を来る十月一日を目標期日として(株)東酪に委託する方針を決定していた。しかし、(株)東酪では去る七月三十一日をもって羽須美運送(株)によるローリー業務の撤退に伴って、去る八月一日からの集乳業務への参入を急遽決断され、西部管内三十五戸の集乳業務と、中国生乳販連の送乳業務を受託し今日に至っている。

▼同社内では、集送乳業務受託に伴う事後対応がある中で、秋口には飼料イネ刈取運搬請負作業とTMR飼料製造の二つの請負作業が加わる予定にあり、繁忙を極める状況が予想され、このリスク防止を考慮する中で、広酪としては今後委託する業務において、「飼料イネ刈取運搬業務」を最優先に考え、TMR飼料の製造従事職員の減員もあつて、組合での製造作業体系を継続し、段階的に業務委託先に移行する方向性を決定した。

#### 協議五 庄原倉庫内の

資産処分決定

▼庄原倉庫内の資産処分に関して、みわTMRセンターへの移動や資産処分を行う前段で、去る八月二十八日、同倉庫の資産確認を代表監事立会の下で行った。

▼この処分方法を審議し、売却対象物件に関しては、原則として関係業者に見積もりを求めた上で敷値を設定する方針とし、その詳細は今後の理事会で協議することとした。

#### 協議六 庄原倉庫の賃貸借契約及び利益相反取引契約の承認

▼庄原倉庫の飼料製造業務の廃止後、①製造飼料製品や飼料イネ(WCS)のストックポイント、②飼料イネ收穫機械の保管施設(倉庫)として利用し、倉庫への職員配置は行わず、本所事業推進課で管理する方針としていた。

▼こうした中であつて、①現行の土地賃貸借契約書第二条の使用目的に変更が生じ、尚且つ②倉庫運用では収益の見込みが無いことから、同契約書第六条に基づき土地賃貸借契約者で、地権者の岩竹重城氏(広酪代表理事組合長)と協議した結果をもって契約内容を審議し、契約締結を決定した。

▼契約締結は、理事会運営規則第七条一項の別表(役員に関する事項)に掲げる「理事と組合間の利益相反取引」の規定に該当するものであることから、この承認を決定した。

#### 協議七 辞任理事の権利義務の

取り扱い

▼八月一日開催の第六回理事会では、河上康則氏(以降、「同氏」という)の「理

事辞任届」の受理を決定した。この退任に伴う理事の権利義務については、次の役員(後任役員)が就任するまでの間は、その役員の権利義務を有するとの定めがあるが、同氏の病状からして、例え権利義務に及ぶ責任事項が生じたとしても、その責任を果たすことは極めて困難と判断し、今後において万一、同氏の理事辞任後に及ぶ経営責任、賠償等責任を求められるような訴訟等が生じた場合においても、同氏に及ぶ責任の一切を免除することを理事会として決定した。

#### 協議八 広島県畜産振興協議会

功労者表彰の候補者推薦

▼広島県畜産振興協議会(会長 瀧口次郎)は、畜産の活性化を推進するため、畜産の振興に貢献した団体又は個人を表彰する「畜産功労者表彰」の候補者を平成二十六年十月一日まで募集しており、この候補者として隅屋寒三氏の推薦を決定した。

#### 協議九 定年再雇用規程に

定める特例人事の取り扱い

▼定年再雇用規程第八条(賃金)の「区

分Ⅳ」に関する賃金の取り扱いに関し  
て、組合長から定年退職後の再雇用制  
度での管理職登用に伴う特例人事の取  
り扱いの提案をもって審議決定した。

**協議十 重点指導対象組合員等  
に対する経営再建支援策**

▼組合員一名から毎月の受託販売生乳  
代金の精算結果では、差引手取り乳代  
が発生しない状況にあり、糞尿処理の  
問題を含め酪農経営収支の改善を早急  
に進めたいとの申出に対して、これま  
で代表理事とのヒアリングのもと、指  
導・支援にあたってきたが、その組合  
員から酪農経営に従事する家族の連署  
をもって、「酪農経営再建にかかる支  
援協力の要請」が経営計画とともに提  
出された。

▼この案件は広酪の「第七次中期三カ  
年計画」に掲げる「恒常的な赤字酪農  
経営体に対する抜本的な指導」に掲げ  
る事項として、申出のあった組合員を  
重点指導対象組合員に位置付けし、要  
請にある借入債務等を包括し、弁済期  
間を十年間に延長する等の条件緩和を  
含む貸付制度の創設や3M事業に及ぶ  
ものであり、九月八日開催の生産委員  
会に諮問し審議することを決定した。

**協議十一 リース取引による  
固定資産の賃貸借**

▼組合員一名から既に五月十二日開催  
の第一回理事会で承認を受けたリース  
申請を取り下げし、新たに別物件で  
リース申請をしたいとの申し出を受  
け、畜産近代化リース事業(通常)の申  
請承認を決定した。

**報告事項**

- 一 広島県西部を襲った豪雨の組合員  
等に及ぶ被害状況
- 二 集乳業者に対する集乳業務円滑化  
のための支援
- 三 MILK ● JAPAN in ひ  
ろしま2014の開催
- 四 子会社・山陽乳業(株)の経営状況
- 五 平成二十六年生乳生産の進捗状  
況
- 六 八月一日現在の生乳生産基盤調査  
結果
- 七 飼料イネの刈取計画
- 八 八月の大雨災害に係る組合支援用  
意と義援金活動
- 九 (一社)全国酪農協会からの役員推  
薦

**庄原倉庫現地資産確認**

八月二十八日 庄原倉庫

**代表監事立会のもと**

**庄原倉庫内資産を確認**

庄原TMRセンターは、五  
月三十一日付けをもって、そ  
れまでのTMR飼料製造業務  
を終了し、六月一日から庄原  
倉庫に名称を変え、同倉庫を  
TMR飼料の原料となる飼料  
イネや、飼料イネ刈り取り機  
械などの保管倉庫として活用  
することとしている。

庄原倉庫には、飼料製造機  
械などの資産を残しており、  
これら固定資産や備品類等に  
ついて、みわTMRセンター  
への「移設」か「売却」又は「廃  
棄」かの処分にあたる仕分け  
確認作業を、池田道明代表監  
事立会の下に行った。



この内、売却対象物件は、原則として関係業者に見積もりを求め敷値を設定し、処分するなどの方法等の詳細は理事会で審議し決定する。

# 「活性化活動助成金」地域配分額決定 酪農任意組織団体代表者と意見交換



広酪は、酪農任意組織団体代表者を参集し、平成二十六年年度活性化活動助成金三百万円の世界配分協議と意見交換を行った。これには酪農任意組織団体代表者十八名の内十二名の出席があった。

▼地域配分額の協議では、去る八月一日開催の第六回理事会で決定した四つの地域配分額を出席した地域代表者が四地域毎に分かれ、下表のとおり決定した。

なお、申請期限は来る九月十日(水)。助成金支払日は九月二十五日(木)とした。



▼その他、組合事業執行等に対する意見・要望では、「六千百円の補助事業(飼料自給力強化支援事業)等の組合からの通知が遅く、回答期間が短い」、「速やかな乳質指導を求めたい」、「TMR飼料の改善対応を検討する場を求めたい」、「TMR飼料の利用者の意見や情報提供を求めたい」、「県共の乳用牛出品の負担から廃止も検討されたい」等の発言があり、これらに対する意見交換を行った。

## ■酪農任意組織団体代表者の氏名

(敬称略)

所属組織	氏名
三次市酪農振興会	橋本 洋資
庄原地域酪農振興会	赤木 靖
西城酪農クラブ	渡部 英彦
東城酪農振興会	和田 慎吾
口和町酪農組合	田邊 輝之
高野町酪農組合	向田 康浩
賀茂地域酪農団体連絡協議会	上川 俊夫
広酪西部地域組合員連絡協議会	岡崎 博昭
J A 広島市芸北酪農部会	上村 秀一
大朝酪農振興会	東方田 忍
千代田町酪農協議会	西原 嘉一
豊平町酪農振興会	宮村 道德
あきたかた酪農振興会	玉浦 転
世羅郡酪農振興協議会	内海 利彦
福山地方酪農協議会	山本 芳紀
神石地域酪農生産振興協議会	山本 薫
甲奴郡酪農組合	伊達 薫
三原市酪農振興会	新舎 和久

## ■平成 26 年度活性化活動助成金の地域配分額

地域	任意組織団体名称	配分額(円)
備北	庄原地域酪農振興会	313,086
	三次市酪農振興会	377,041
	東城酪農振興会	104,667
	口和町酪農組合	101,509
	西城酪農クラブ	58,979
	高野町酪農組合	56,111
	南部	賀茂地域酪農団体連絡協議会
西部	豊平町酪農振興会	90,326
	大朝酪農振興会	67,978
	広島西部地域組合員連絡協議会	150,322
	JA 広島市芸北酪農部会	81,834
	千代田町酪農協議会	110,653
	あきたかた酪農振興会	317,509
東部	福山地方酪農協議会	133,374
	神石地域酪農生産振興協議会	62,460
	世羅郡酪農振興協議会	218,960
	三原市酪農振興会	133,333
	甲奴郡酪農組合	393,340
合計		3,000,000

(注)三次市甲奴町管内の組合員分は甲奴郡酪農組合に配分。

# MILK●JAPAN「実行委員会」 イベント準備に着手！

広酪は、八月二十五日、「第一回 MILK●JAPAN in ひろしま 2014・五感で満喫 酪農体験 1 DAY ツアー実行委員会」を開催し、構成する団体の代表者九名と、事務局を加え総勢十九名が出席した。

議長は、鈴木道弘会長（広酪・専務）が務め、開催要領や企画概要等を説明し協議を行った。開催規模は約二百四十名で、中国生乳販連が交付する牛乳定着化事業助成金二百万円その他、広島県牛乳普及協会三十万円、参加費を財源に一般消費者に対して乳牛との触れあい、搾乳体験など酪農現場での体験を通じた酪農業に対する理解醸成とともに牛乳・乳製品の消費を高める酪農体験を意識した各種イベントを開催することとした。

各種イベントでは、大規模なものとなることから、関係団体への協力を求めた上で役割分担を決め、この内容を

もって、各団体での具体的内容を詰めることとした。

## 【実行委員会の構成】

- (一) 広島県酪農業協同組合組合長
- (二) 中国生乳販売農業協同組合連合会会長
- (三) 広島県牛乳普及協会会長
- (四) 広酪ホルスタイン改良同志会会長
- (五) ひろらく女性グループ連絡協議会委員長・副委員長
- (六) ひろらく女性グループ連絡協議会姫の部ときめき隊代表者
- (七) 広酪メンバーズクラブ委員長
- (八) 庄原市酪農連絡協議会
- (九) その他、実行委員会に必要と認められる者

## ■各団体での取組状況

### 広酪メンバーズクラブ

8月27日（水）委員会を開催。「哺乳体験」、「ミニ動物園」を担当し、会員への動員を呼びかけた。

### 広酪ホルスタイン改良同志会

9月3日（水）役員会を開催。「搾乳体験」、「毛刈り見学」、「削蹄見学」の対応を協議。役割を分担や動員を呼びかけた。

### 広島県牛乳普及協会

9月11日（木）運営委員会を開催。牛乳普及イベントの対応を協議決定した。

### ひろらく女性グループ連絡協議会

9月2日（火）委員会を開催。担当する「カッテージチーズ作り」や昼食対応を検討。松本美喜枝副委員長が事前に準備された、牛乳料理のPRを意識した「ミルクラーメン」の昼食提案を受け、実際に試食し、大変好評であったことからこれを決定した。また、牛乳料理試食コーナーでは、ミルク料理研究家の小山浩子先生の著書「目からウロコのおいしい減塩 乳和食」から3品の乳和食を紹介することとした。



八月二十九日 広酪本所会議室